

桜門ドイツ文学会だより

[平成 28 年度の主な活動]

2016.03.12 理事会・総会・懇親会（日本大学会館 701 会議室）

（理事会：午後 3 時－午後 5 時、総会：午後 5 時－午後 5 時 30 分、出席者：理事会 14 名、総会 21 名）

【報告】

1. 平成 27 年度活動報告
2. 平成 27 年度会計報告
3. その他

【審議】

1. 平成 28 年度担当ブロックと会長、理事長の承認
2. 理事会の日時と場所について
3. 『リュンコイス』第 50 号について
4. その他（平成 28 年度の年間スケジュールについて、平成 28 年度会計監査の担当者について、『リュンコイス』のデータ化とインターネット上の公開について）

〈懇親会〉

総会に引き続き、日本大学会館地下食堂にて和やかに懇親会が開かれた。（午後 6 時－午後 8 時、参加者：21 名）

2016.06.04 第一回理事会（日本大学法学部 10 号館 1072 教室）

（午後 3 時 30 分－午後 5 時 50 分）

【報告】

1. 平成 28 年度の年間スケジュールについて
2. その他

【審議】

1. 平成 28 年度各ブロック理事の承認：渡辺徳夫・関口なほ子・岡本奈穂子・豊田順一・須藤温子・田中徳一・○柳武司（広報委員会委員長）・伊藤卓立・渡邊徳明・三浦美紀子・杉田芳樹・黒瀬志保（庶務委員会委員長）の諸氏（○は理事長）
2. 平成 28 年度総会・理事会（懇親会）について

3. 『リュンコイス』第50号について
4. その他（『リュンコイス』のデータ化とインターネット上の公開について、日本独文学会研究発表会について）

2016.06.18 ドイツ文法研究会（日本大学法学部10号館1072教室）
（午後3時～午後5時50分）

【発表題目】

現在完了形と前置詞 seit の共起について

—Adelung 独々辞典（1811）の記述を通して—

杉田芳樹

2016.09.09 第18回学術研究発表会（日本大学商学部2号館2201教室）
（午後2時30分～午後5時）

【司会・開会の辞】柳武司

【発表題目】

- ① トーマス・マンと物語

—後期の作品を中心に—

及川晃希

- ② Irmgard Keun „Das kunstseidene Mädchen“ における „die Neue Frau“ の女性像

—ワイマール共和国時代の „die Neue Frau“ を定義するものは何か—

高宮純子

- ③ 仏教的日本人から見たリルケのオルフォイスの世界 伊藤卓立

【閉会の辞】保坂一夫

〈懇親会〉

研究発表会後、商学部近く「モデラート」にて和やかに懇親会が開かれた。（午後5時30分～午後7時30分、参加者：19名）

2016.09.12 ドイツ文法研究会（日本大学生物資源科学部4号館ドイツ語研究室）

（午後3時～午後6時）

【発表題目】

イタリア語における現在完了形の用法について

—ドイツ語と比較しつつ—

川尻竜彰

2016.12.17 『リュンコイス』第50号第一回編集会議（日本大学法学部
2号館262教室）

（午後1時－午後5時50分）

2017.02.18 『リュンコイス』第50号最終編集会議（日本大学文理学部
本館H304、305教室）

（午後1時－午後6時）

[会員の活躍情報]

保阪靖人共訳：マーガレット・トマス著『ことばの思想家50人—重要
人物からみる言語学史—』（朝倉書店）

[ご寄付について]

平成28年度に野澤密孝先生より当会にご寄付を頂きました。厚く御礼
申し上げます。

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた木村行宏先生（2016.3.17）
がご逝去されました。つつしんでご冥福をお祈りいたします。

（文責 柳）